

データ駆動イノベーション推進本部・次世代型オープンエデュケーション推進部門とは

次世代型オープンエデュケーション推進部門は、「九州大学における教材の質を向上し、教育の質を改善する目的」で2011年4月から2024年3月まで設置された附属図書館付設教材開発センターの業務を一部引き継ぎ、教員の教材制作・支援、革新的な教材や教育方法を開発・提案するなど、以下のような様々な活動に取り組んでいます。

1. 教材制作支援

- 教材を制作するためのソフトウェア、教材制作における著作権処理についてFD講習会を開催するなどして、教員のスキルアップを支援します。
- 音と映像の相互関係を活かし、より効果的に学習可能な、今までにない映像コンテンツとしての教材を開発し、提案していきます。
- 部局と協力・連携して、各種教材の共同制作・支援を行います。ビデオ教材によるMOOCs (Massive Open Online Courses) やSPOC (Small Private Online Course) 等に対応できるようにスタジオを整備しており、英語を使ったビデオ教材を始め、高品質な教材の制作に注力します。

2. 教育・学習環境

- 3DCG等のICTを活用した、分かり易い教材を開発し、授業などで利用することで、学生に学習内容に対する興味を喚起させ、内容理解を促進させることが期待できます。
- 教員が話し、学生が聞くだけというこれまでの授業形態ではなく、学生も参加してともに学ぶという新たな教育・学習環境の提案・開発・普及を行うので、学生から見て、より楽しい授業が期待できます。

もっと詳しく知るには

- ・ データ駆動イノベーション推進本部 次世代型オープンエデュケーション推進部門 <https://noe.icer.kyushu-u.ac.jp/>
録画した授業も上記から閲覧できます。

お問い合わせ先

・データ駆動イノベーション推進本部 次世代型オープンエデュケーション推進部門 092-802-6107

dx_noe@jimu.kyushu-u.ac.jp